第33回全日教連教育研究全国大会（栃木大会）開催！

今を生き抜き未来に活きる力を育む教育実践
～主体的にたくましく学ぶ子供の育成を目指して～

八月六日（土）、七日（日）、第三三回全日教連教育研究全国大会が、栃木県宇都宮市のホテル東日本宇都宮、栃木県教育会館を会場に開催された。大会初日は、七つの分科会に分かれて、各県提案者の実践発表や各分科会の助言者による助言者ゼミナールが開催された。香教連からは五名の先生方が三つの分科会で実践発表を行った。二日目は、全体会に引き続き、書道家・武田双雲氏が、「人生が変わる～言葉の力・書の力～」と題して講演を行った。

第一分科会「学習指導A」

小豆島町立池田小学校・大森淳子教諭は、「ふるさと『小豆島』の偉人から未来へつなぐ学びをつくる～劇『藤原兵太郎物語』上演を通して～」というテーマで実践発表を行った。生活科や総合的な学習の時間を中心に、自分とつないで考えることができるように、学んだ子供たちがその生い立ちを演じ、夢を語るという形で地域に向かって発信していく過程で未来へつなぐという学びを達成できると考えた取組であった。

大森教諭

山田・白川・高橋養護教諭

第五分科会「健康教育」

坂出市立加茂小学校・白川未来養護教諭、坂出市立東部小学校・山田那央子養護教諭、坂出市立川津小学校・高橋喜絵養護教諭は、「養護教諭の専門性を生かした健康教育の在り方～危機管理に果たす養護教諭の役割～」というテーマで実践発表を行った。近い将来遭遇する可能性がある自然災害も視野に入れ、専門性を生かした危機管理体制の確立を目指した取組であった。

質問に立つ参加者

第七分科会「特別支援教育」

丸亀市立城北小学校・高木俊彦教諭は、「子供の困り感に寄り添う支援を求めて」というテーマで実践発表を行った。不登校傾向のある発達障害の児童の背景にあった現状を受け止めながら、落ち着いて学校生活を送れるようになっていくまでの実践を「連携」というキーワードをもとに発表した。

高木教諭

香教連の三つの実践発表については他県からの参加者はもちろん指導助言者の先生方からも高い評価を得ることができた。

香川県教職員連盟は、結成四十二年を迎えた子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行者：矢代　浩己

〒760-0004
高松市西宝町２丁目４番６０号
香川県教育会館６０２号
TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723
http://www.kakyoren.com/
E-mail:info@kakyoren.com

毎月10日発行　定価１部50円
（年間1,000円　送料とも）
会員の購読費は会費の中に含む

記念講演「人生が変わる～言葉の力・書の力～」

書道家・武田双雲氏は、小学生の頃、周りの人たちの書く文字に関心を持ち、一つとして同じ文字がないことから人の多様性に気づかれた。「価値観が異なっていることを善しとし、出会いをプラスに変えること」、「世界は変えられないが、自分は変えられる」等、ユーモアを交えながら「価値観の違いを認められる関係を作ること」が大切であることを力強く述べられた。

講演する武田双雲氏

参加者の感想を以下に掲載する。

○　アクティブラーニングをキーワードに主体的に取り組む（自ら課題を設定）や交流活動（対話）に関する工夫された実践を聞くことができた。早速二学期からの指導に取り入れたい。（小学校　男性）

○　分科会での情報交換が楽しかった。それぞれの県にそれぞれのやり方があることが分かった。このことが全国教研のよさだと改めて感じた。（小学校　男性）

○　期待通り、それ以上の楽しい講演でした。終始笑いがありなるほどと感心することがたくさんありました。同じことでも見方、とらえ方次第で気が楽になりプラスの一歩が歩めるんだと思いました。（小学校　女性）

香教連からの参加者

人事院、三年連続の引上げ勧告

八月八日（月）、人事院は一般職国家公務員の平成二十八年度の給与とボーナスについてともに引き上げるよう国会と内閣に勧告した。

【給与勧告のポイント】

月例給、ボーナスともに三年連続の引上げ

①　民間給与との格差（〇・一七％）を埋めるため世代間の給与配分の観点から若年に重点を置きながら俸給表の水準の引上げ

②　ボーナスを引上げ（〇・一月分）勤務実績に応じた給与の促進のため勤勉手当に配分

給与制度の改正

①　給与制度の総合的見直しについて本府省業務調整手当の手当額を引上げ

②　配偶者に係る扶養手当の手当額を他の扶養親族と同額とし、子に係る手当額を引上げ

③　専門スタッフ職俸給表に四級を新設

四国教育合同研修会開催

研修会の様子

七月三十日（土）、平成二十八年度「四国教育合同研修会」が高知会館において、四国内日本教育文化研究所加盟団体と四国四県高等学校教職員組合連絡協議会（四高連）との合同研修会として開催された。開会行事の後、高知市立城西中学校校長・宮田龍氏による講演が行われた。講演は、「学校における危機管理とは～子供たちを守るために～」の演題で行われた。講演の中で宮田氏は、学校の危機管理において本当の危機は教職員の心がばらばらになることであり、「教職員が心を合わせて、本当の意味のチーム学校になることが大切である。」と話された。

参加者からは「約二十五年の管理職を経て今なお生徒達の安全教育に直接関わっている宮田先生の熱意に感動した。チーム学校の視点で明日からの仕事に取り組みたい。」という感想が聞かれた。

青年フォーラム二〇一六開催

八月十六日（火）、十七日（水）、全日教連主催「青年フォーラム二〇一六」が開催された。香教連からは、多度津町立多度津小学校・近藤修司教諭、福岡理子教諭の二名が参加した。

一日目は、組織理解やビジネスマナー講習等を行い、その後、小グループに分かれ、今日的な教育課題について、日々の悩みや問題点を出し合い、解決策を熱心に協議した。二日目は、自由民主党本部の見学と、教育懇談会を行い、「国の教育はこのように決まっている」のテーマで、衆議院議員・宮川典子氏に講演していただいた。未来を担う子供たちのために、日本全国の教育正常化が極めて重要であることを実感するとともに、今後の国が進める教育施策の方向性を知ることができた。

国会議事堂前で

参加者の感想を以下に掲載する。（一部抜粋）

○　全日教連・香教連の仕組みや理念について詳しく知る良い機会となった。いろいろな取組が子供や教員のためになっていることや政府に直接話ができることを聞いて心強く感じた。全国の先生方と課題を共有し、協議する中で参考になることが多くあった。

○　英語の教科化についてグループワークを行った。専門的に学んでいないことの不安や時数の確保等の課題を出し合い解決法を提案することを通して悩みの共有や意見交換ができた。

メロン

香教連新聞七月号に掲載したように、香教連新聞八月号をお休みし、今月号を八・九月合併号とさせていただいた。そのため夏休み前半の行事についての記事の発信が遅れたことをお詫び申し上げる。情報についてはフェイスブックでも随時発信している。ぜひご覧いただきたい。（や）

講師部研修会開催

八月五日、平成二十九年度香川県学校教員採用第一次選考試験の合格が発表された。今年度は小学校が一・五倍、中学校は三・二倍、養護教諭三・七倍となった。八月十九日からは第二次試験も行われた。それに向け、七月三十日（土）にはサンポートホール高松で、八月十一日（木）には香川県教育会館にて、香教連講師部研修会を行った。

両日とも、二次試験対策として、はじめに香川大学准教授田﨑伸一郎氏に講演をしていただいた。続いて、香川大学准教授高木愛氏、香川大学教職大学院教授高木展郎氏、教連本部役員、各単組会長、教科専門の先生方を講師に、模擬授業、個人面接の演習に取り組んだ。講師の先生の助言・指導を受けながら、熱心に取り組む受講者の姿が見られた。

研修（模擬授業）の様子

第3回会長・事務局長会開催

九月三日（土）、香川県教育会館第一・二会議室において、第三回会長・事務局長会を開催した。

経過報告に引き続き、今後の行事や組織拡大に向け、熱心な議論がなされた。また、予算交渉に向けた要望書の検討や署名活動のお願いも行った。

組織拡大に向け、今後も地道に取り組んでいく。

挨拶をする矢代委員長

東京徒然草

全日本教職員連盟　事務局次長　井上　真登

人の多い東京、人混みを歩くだけで気が滅入ります。そんな時、私は前から来る人や出入り口でぶつかりそうになると、自分が一旦待ち、よけるようにしています。すると気持ちに余裕ができます。また相手も立ち止まってくれると、お互いに笑顔になります。

八月に行われた全日教連教研大会（栃木大会）で、記念講演として書道家の武田双雲さんが自身の人生の転機について、「会社を辞め独立し、なかなか物事がうまくいかなかった時に自分の波長を整える、つまり毎日を楽しく生きようと自分を変えることで運気を良くすることができた。自分が楽しむことで周りも楽しくさせることができる」とお話しになりました。

また、作家の曽根綾子さんがある雑誌の対談の中で、「心を自分で調えなさい。心が穏やかでないと与えることができないから。受けるより与えるほうが幸いである」と教えられ、自分にできる小さなことであっても相手に与える習慣をつけることが、人生を心豊かに生きる一つのヒントになると話されていました。

さらに青年塾の上甲晃さんが、「自分はこれまで、他人を変えようとするあまりどれほど人を責めてきただろうか。しかし、いくらそれを続けたところで人を変えることはできない。人生でただ一つ、自分の責任において変えられるのは自分しかない。常に問われているのは、自分から変わる勇気を持てるかどうかだ。このことが、自分の人生を力強いものにしていく」と語られていました。

三人に共通するのは、周りを変えるには、自分を変えること。自分が変わることで、周りに対して思いを与えられ、自分自身も満たされて幸せになっていくということだと思います。

最近、電車の中で席を譲ったりベビーカーを手伝ったりしているところをよく見かけます。イライラして雰囲気を悪くしたり、気持ちでぶつかりお互いに嫌な思いをしたりすることもありますが、まずは自ら「すみません」「ありがとう」の言葉と共に周りを楽しくして、何かを与えられる自分でありたいと思います。

宝塚観劇ツアー開催

八月二十七日（土）に、香教連・宝塚観劇ツアーを開催した。当日は星組の公演で「桜花に舞え」と「ロマンス」の二つの演目が行われた。迫力のある演技やきらびやかな衣装等、本物に触れることのできた時間となった。

今回多くの会員の要望もあり、初めてツアーを開催したが、女性を中心に県内各単組より二十五名の参加者があり、改めて宝塚歌劇団の人気の高さを感じることができた。

今後も会員の皆さんの声に耳を傾け、充実した活動を企画・実行していこうと考えている。

参加者の皆さん

香教連ゴルフコンペ開催

第二六回香教連ゴルフコンペが、八月十二日（金）に、満濃ヒルズCCにおいて、盛大に開催された。

大会には、県内各単組から十三名の会員が参加して実施した。連日の猛暑にもかかわらず、随所に好プレーが続出した。結果は、ハイレベルなスコアメイクの中、篠原和隆先生（前田小）が優勝を果たした。

表彰式では、成績優秀者の表彰の他、ドラコンやニアピンなどの特別賞も用意され、参加者は夏休みの一日、充実したひとときを楽しむことができた。

参加者の皆さん

劇団四季ツアーのお知らせ

今年度も恒例の劇団四季ツアーを次のように開催する。

実施日　平成二十八年十月八日（土）
演　目　劇団四季ミュージカル「キャッツ」
参加費　大人一名・二万円
子供一名・一万五千円
（豪華ランチバイキング付き）
申　込　**九月十二日　十七時より℡で申込開始**
先着四十名
※　参加申込につきましては、先日各学校の評議員・分責に送付したパンフレットをご覧いただき、香教連事務局までお願いします。
電話　〇八七―八三五―二七二二
FAX　〇八七―八三五―二七二三

第38回教研大会・講師決定

第三八回香教連教育研究大会に、弁護士・菊池幸夫氏をお迎えし、開催する運びとなった。

菊池先生は現在、テレビ「行列のできる法律相談所」、「スッキリ！」にレギュラーとして出演されている。また弁護士業務の傍ら、各地のトライアスロン大会に参加されたり、地元小学生バレーボールチームの監督もされたりしており、エネルギーあふれる菊池先生から私たちに力を与えていただける講演会になると期待している。多くの先生方の参加をお待ちしている。

日　時　平成二十八年十一月十九日（土）
十三時～十六時
場　所　香川県教育会館　ミューズホール
テーマ　「菊池流　魅力的人生のススメ」
※　申込方法等、詳細は後日お送りいたします。

署名活動にご協力を！

質の高い教育を提供するために、教育予算の増額を国に要望する署名活動を行っています。

未来の日本を担う子供たちのためにこの活動はこれまでも大きな成果を上げている。今年度も是非ご協力をお願いしたい。

教職員定数の改善
人材確保法の趣旨の尊重
義務教育費国庫負担制度の充実

であるべきだ。

子供たちに向き合い、教育を提供するには、私たちの声なくしてはありえない。

各単組事務局よりリーフレットを配布いただき、署名簿をおり届けるとともに、主旨をご理解ご賛同いただいた多くの方々に署名していただきたい。

従日記

朝夕、随分過ごしやすくなって参りました。運動・文化・食欲の秋到来です。ゆっくり好きな本を読むのもいいですね。

七月

一三日　坂出評議員会（勤労福祉センター）
一六日　教文研委員会①（教育会館）
全・事務局長・書記長会議（東京・都市センターホテル）
一七日　教育関係七団体教育懇談会（教育会館）
三〇日　講師部研修会⑤（サンポートホール高松）
四国教育合同研修会（高知県高知市）
三一日　中堅教員研修会③（教育会館）
教育者研修会（ミューズホール）

八月

五日　全・第一九七回執行委員会（ホテル東日本宇都宮）
六日　第三三回全国教研栃木大会分科会（ホテル東日本宇都宮）
第三三回全国教研栃木大会全体会・記念講演会（栃木県教育会館）
一一日　講師部研修会⑥（教育会館）
一二日　香教連ゴルフコンペ（満濃ヒルズｃｃ）
一六日　全・青年フォーラム二〇一六～一七日（都市センターホテル他）
二〇日　香管協セミナー（リーガホテルゼスト高松）
二一日　中堅教員研修会④（教育会館）
二七日　宝塚観劇ツアー（宝塚大劇場）

全日教連ホームページアドレス及び井上事務局次長メールアドレス
URL　http//www.ntfj.net
E-mail　inoue@ntfj.net